

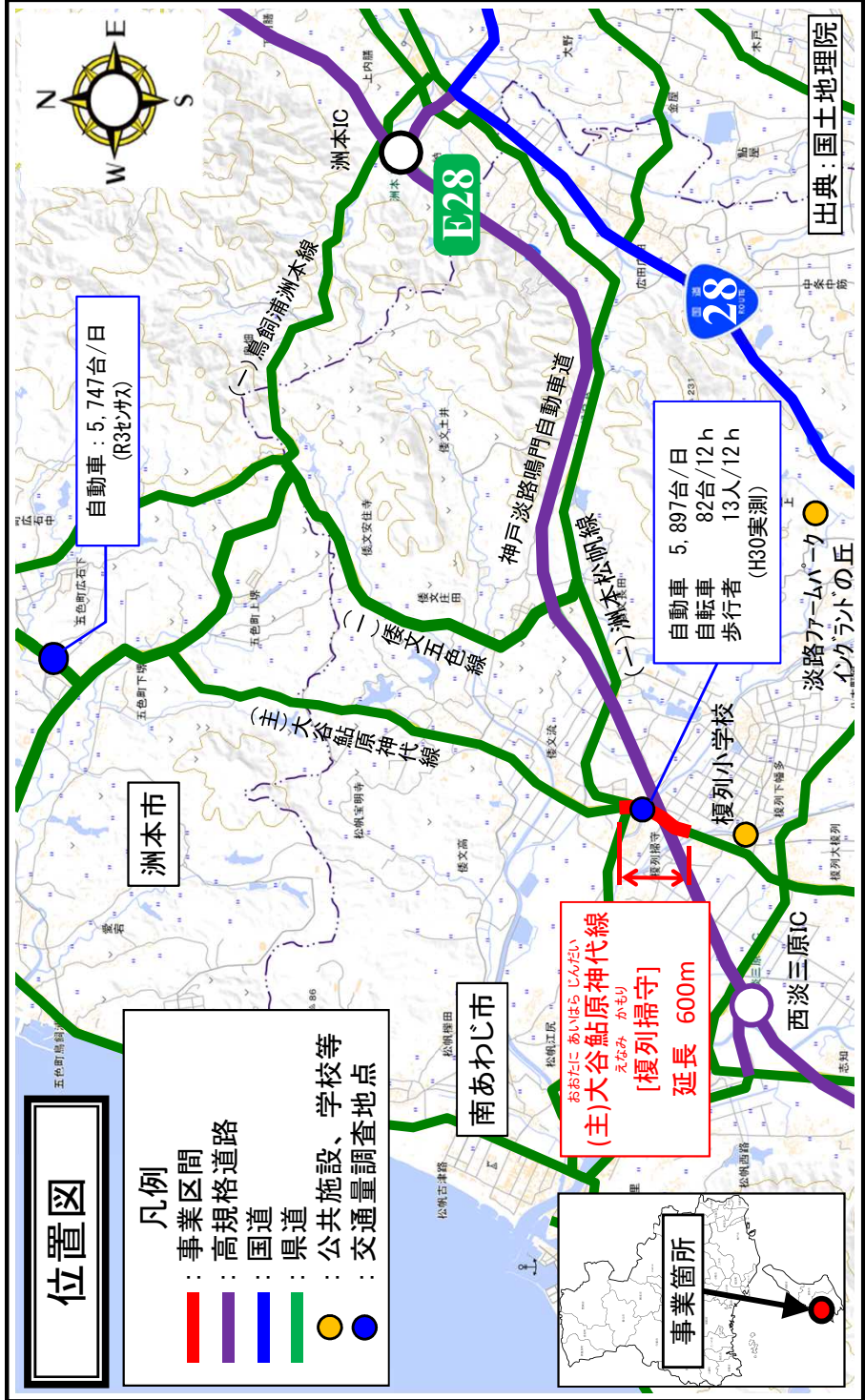
令和5年度 投資事業評価調書（継続：再評価〔第2回〕）

部課室名	土木部 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 志茂 大輔 (県道班長 勝山 賢一)	内 線	4362 (4376)
事業種目	道路事業	新規評価年度	平成20(2008)年度	現計画	前回評価時点
事業名	主要地方道 おおたにあいはらじんたい 大谷鮎原神代線 えなみかもり (複列掃守)	事業採択年度	平成21(2009)年度	総事業費	13億円
		着工年度	平成21(2009)年度	内地補償費	6.1億円
		再評価年度	平成30(2018)年度	完成予定年度	令和10 (2028)年度
事業区間	南あわじ市 <sup>えなみかもり</sup> 複列掃守			進捗率 (用補進捗率)	59% (97%)
				残事業費	5.3億円
事業の目的				事業内容	
<p>・本路線は、淡路島内陸部を縦断する幹線道路で、淡路地域の交流連携を促進する機能を担うとともに、生活道路として重要な役割を果たす道路である。</p> <p>○安全で円滑な交通の確保 現道は幅員狭小(5.0~6.0m)であり、大型車の離合が困難であるため、現道を拡幅し安全で円滑な交通を確保する。</p> <p>○安全な歩行者空間の確保 通学児童は危険な現道(幅員狭小、歩道無し)を通行しており、歩道設置により安全な通行を確保する。</p> <p>○渋滞の解消 <sup>かもり</sup>掃守交差点では、朝の通勤時に右折車両による渋滞が発生しているため、右折レーンを新設し交通混雑の解消を図る。</p>				<p>【延長】600m</p> <p>【構造規格】第3種第3級</p> <p>【計画幅員】2車線 片側歩道2.5m 車道6.0m [全幅10.0m]</p> <p>【計画交通量】5,800台/日 [R12予測]</p> <p>【現況交通量】</p> <p>自動車：5,897台/日 [H30実測] 自転車：82台/12h [H30実測] 歩行者：13人/12h [H30実測]</p> <p>【費用負担割合】</p> <p>H21~H29：県100%(合併支援道路整備事業) H30~R10：国55%、県45%</p>	
事業を取り巻く 社会経済情勢等 の変化	<p>【前回評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】</p> <p>①橋梁拡幅工法の変更により1.2億円、労務・材料費の高騰により2.0億円事業費を増額する。</p> <p>②用地買収及び物件移転に係る交渉難航、橋梁拡幅工法の見直し(道路の切り回しによる片側交互通行での施工)により、完成予定年度を令和10年度に変更する。</p>				
進捗状況	<p>①進捗率は事業費ベースで59%、用地取得率は97%</p> <p>②残用地(用地：約60m<sup>2</sup>、物件：1件)については、早期に取得すべく交渉を進める。</p> <p>③用地取得完了後、掃守橋架替工事・道路改良工事を進め、令和10年度の完成を目指す。</p>				
評価視点	評価結果の説明				
審査会意見及び 対応方針 (H30年度再評価)	【審査会意見】 継続妥当		【対応方針】 —		
(1)必要性	<p>①現道の幅員が6.0m程度と狭小であり、大型車と乗用車のすれ違いが困難な状況であるため、現道を拡幅することにより、安全で円滑な交通を確保する。</p> <p>②現道の幅員が狭小で歩道が無く危険なため、歩道を整備することにより<sup>えなみ</sup>複列小学校の通学児童の安全を確保する。</p> <p>③事業区間内の<sup>かもり</sup>掃守交差点では、朝の通勤時に右折車両による渋滞が発生しているため、右折レーンを設置し、渋滞解消を図る。</p>				
(2)有効性 ・効率性 (執行環境状況)	<p>①費用便益比B/C=1.1(全体)(前回評価時点B/C=1.4)、B/C=3.8(残事業)</p> <p>②地元自治会や南あわじ市から早期整備への強い要望がある。</p>				
(3)環境適合性	歩道舗装に雨水が地中に浸透する透水性舗装を採用し、地下水涵養を図る。				
(4)優先性	事業区間中央に残る <sup>かもり</sup> 掃守橋工区120mがボトルネックとなっていることから、早期に事業を完了させる必要がある。				
再評価 の結果	継続	左の理由	事業の必要性は事業採択時と変わっておらず、南あわじ市の「通学路交通安全プログラム」に本事業が位置付けられており、継続して事業を実施する必要がある。		

# 事業進捗状況概要図（継続：再評価〔第2回〕）

事業名	道路事業	路線・河川名	(主) 大谷鮎原神代線 (複列掃守)
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="183 212 526 963" style="width: 30%;"> <p><b>位置図</b></p> <p><b>凡例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: red;">—</span> : 事業区間</li> <li><span style="color: purple;">—</span> : 高規格道路</li> <li><span style="color: blue;">—</span> : 国道</li> <li><span style="color: green;">—</span> : 県道</li> <li><span style="color: yellow;">●</span> : 公共施設、学校等</li> <li><span style="color: blue;">●</span> : 交通量調査地点</li> </ul> <p><b>事業箇所</b></p> <p>おおたに あいはら じんだい  <b>(主)大谷鮎原神代線</b>  <b>[複列掃守]</b>  <b>延長 600m</b></p> </div> <div data-bbox="526 212 1428 963" style="width: 65%;"> <p>自動車：5,747台/日 (R3センサス)</p> <p>自動車 5,897台/日          自転車 82台/12h          歩行者 13人/12h (H30実測)</p> <p>出典：国土地理院</p> </div> </div>			
<b>事業進捗状況・予定</b>		<b>整備効果</b>	
<p>全体 H21 (2009) ～ R10 (2028)</p>	<p><b>【事業費＝13 億円】</b>                  延長 600m                  用地取得面積：約 2,600m<sup>2</sup></p>	/	
<p>前回再評価 まで (実績)</p>	<p><b>【事業費＝6.3 億円】</b>                  事業進捗率64%                  用地補償進捗率84%</p>	<p>交差点部を含む事業区間北側工区の完成 (L=210m) により、信号渋滞の解消、歩行者・自転車の安全を確保。</p>	
<p>過去 5年間 R1 (2019) ～ R5 (2023)</p>	<p><b>【事業費＝1.4 億円】</b>                  事業進捗率59%                  用地補償進捗率 97%</p>	<p>橋梁区間より南側工区の完成 (L=270m) により円滑な交通を確保。</p>	
<p>今後5年間 (予定) R6 (2024) ～ R10 (2028)</p>	<p><b>【事業費＝5.3 億円】</b>                  令和6年度～令和10年度 掃守橋橋梁架替工事                  令和10年度 橋梁取り合い区間の道路改良工事                  令和10年度 全線供用予定</p>	<p>残る橋梁区間を整備し、全事業区間において、安全で円滑な交通を確保。</p>	

おおたに あいほら じんたい えなみ かもり  
**道路事業 (主)大谷鮎原神代線(榎列掃守)(継続:再評価[第2回])**

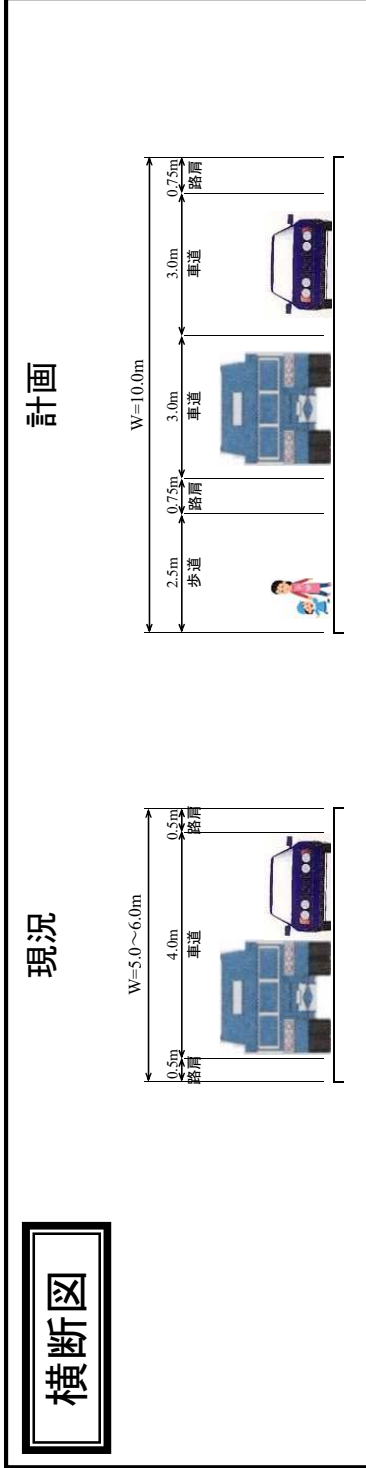


**目的**

- ①安全で円滑な交通の確保
- ②安全な歩行者通行の確保

**事業概要**

事業区間: 南あわじ市榎列掃守  
 事業費: 13億円  
 用地補償費: 6.1億円  
 概算期間: H21~R10  
 概要: 現道拡幅  
 延長: 600m  
 員数: 6.0m(10.0m)  
 計画交通量: 5,800台/日(R12推計)  
 費用便益比 B/C: 1.1

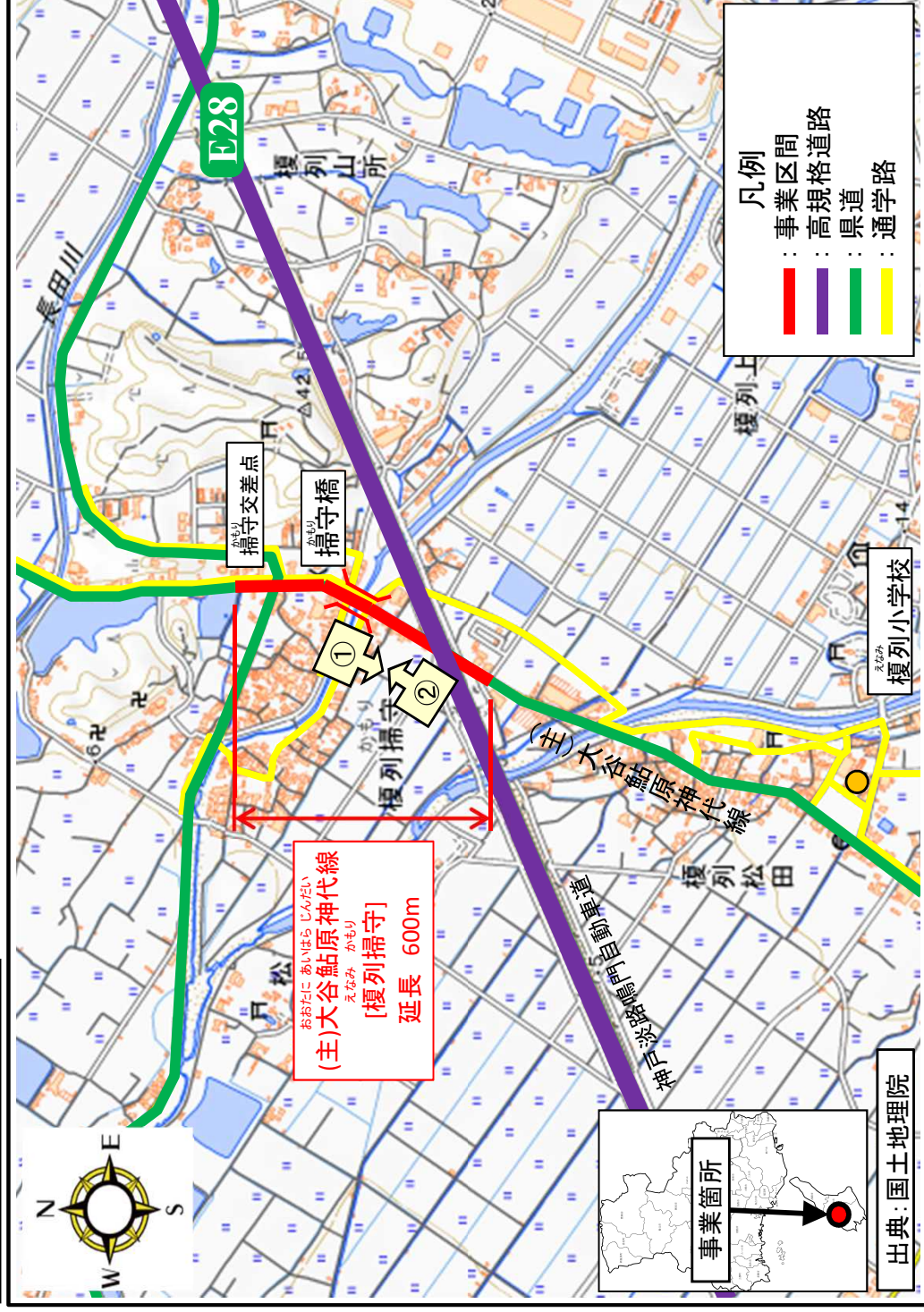




## 事業の必要性・優先性

- ① 現道の幅員が6.0m程度と狭小であり、大型車と乗用車のすれ違いが困難な状況であるため、現道を拡幅することにより、円滑な交通を確保する。
- ② 榎列小学校の通学児童は危険な現道（幅員狭小、歩道無し）を通行しており、歩道設置により安全な通行を確保する。
- ③ 残用地は残り1件のみであり、早期に取得すべく交渉を進めている。

## 平面図



## 整備前状況

- ① 大型車と乗用車のすれ違いが困難



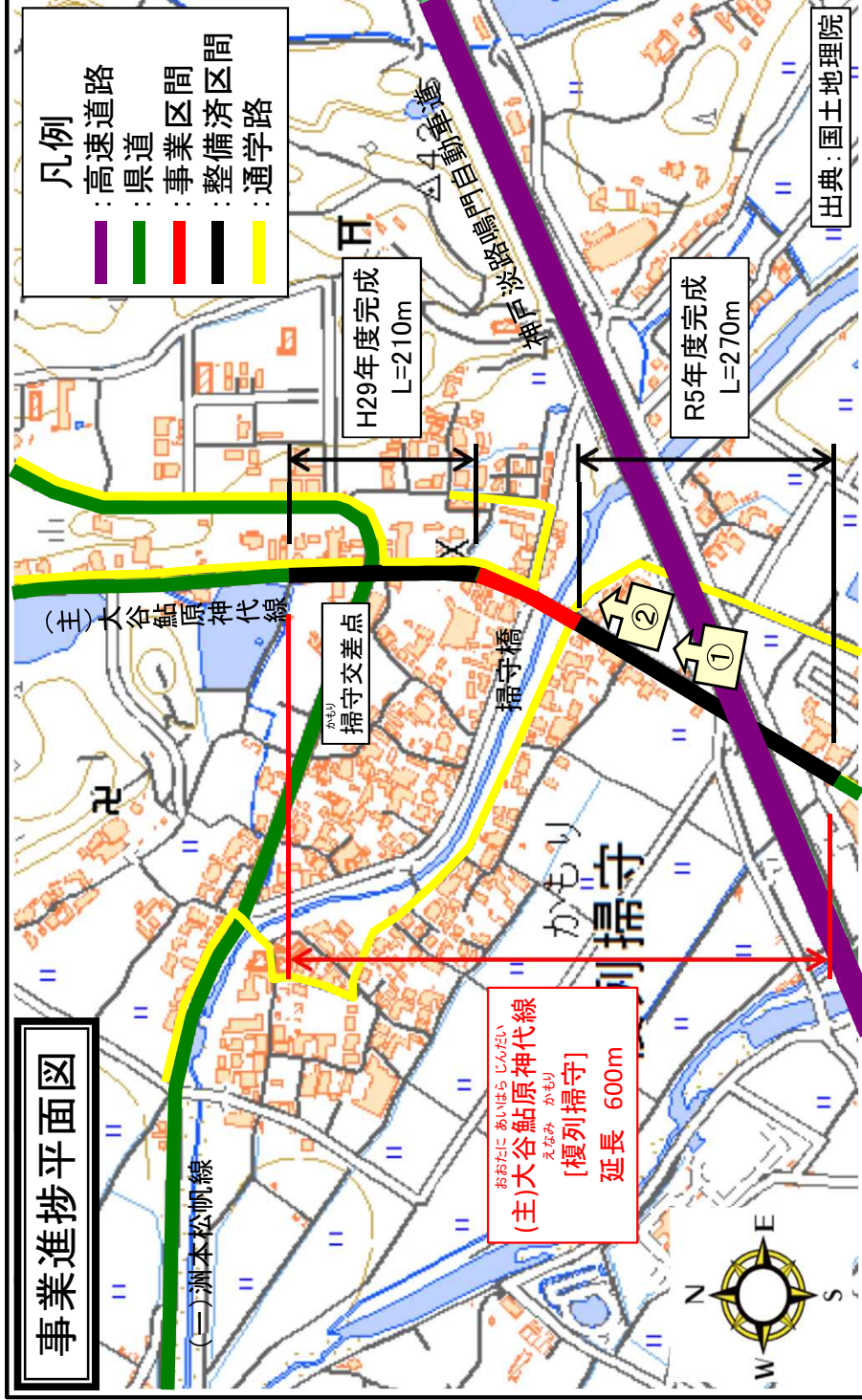
- ② 現道が幅員狭小、歩道なしで危険





# 進捗状況

## 事業進捗平面図



■ : 前回計画  
■ : 実施・計画

## 工程表

工程表	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
調査・設計	■	■																		
用地補償		■																		
道路改良工事		■																		
橋梁工事																				

# 整備状況

## ① 現道拡幅により円滑な交通を確保



## ② 歩道設置により通学児童の安全を確保

